

# 六尺藤に魅せられて

## 住雲寺で藤まつり

藤の花が見ごろを迎える5月3日から5日まで、住雲寺（大山町古御堂）で藤まつりが開かれました。今年は昨年と比べ開花が約1週間遅れ、初日は3〜4部咲きでしたが、連日の好天に恵まれ、町内外から1万人を超える人が見物に訪れました。

期間中は、先着300人に藤もちが配られたほか、藤棚の下ではお茶席が用意され、新築されたばかりの寺の本堂では琴演奏などが催されました。また、地元の有志の皆さんによる名物の藤寿司やうどんの販売、そして地元文珠（もんしゅ）領婦人部によるコーヒーマーの販売もあり、多くの見物客が美しいふじの花を満喫しました。

最終日の夕方には、山陰で活躍中のグループ、ゴスペルオーブのコンサートがあり、約300人がライトアップされた藤の幻想的な雰囲気の中、心地よい歌声を楽しみました。



美しい藤の花をカメラに収めるみなさん

## 所子地区イベントの会が見学者を接待 一服どうぞ



門脇家住宅の一般公開にあわせ、地元所子地区の婦人を中心とした「所子地区小さな町並みイベントの会」15人（代表山根勝江さん）が近所の駐車場に休憩所を設け、見学に訪れた人たちを接待しました。休憩所にはコーヒーやカレーライス、おこわのほか手作りアクセサリーやマスコット、豆や新鮮な野菜などが並べられました。期間中、多くの人が立ち寄り、地元の心づくしの接待を受け、満足した様子でした。

## 門脇家住宅で春季公開



作品の説明をする11代目当主の門脇卓爾さん

## 伝統の御幸行列練り歩く

5月4日、逢坂八幡神社（松河原）の例大祭が行われ、一目見ようと多くの参拝者でにぎわいました。

昼過ぎには「烏毛（くろげ）、白毛（しろげ）」の華麗な舞（表紙写真）を交えながら3基の神輿が進む伝統の御幸行列が本殿から約400メートル先の御幸場まで練り歩き、沿道からは盛んな拍手が送られました。

また境内の御幸場では、神事のほか氏子の乙女たちが「浦安の舞」を神前に奉納。参拝者の注目を集めました。



優雅な浦安の舞

4月30日から5月6日まで、所子にある重要文化財の門脇家住宅で春季公開見学会が開かれました。今回は「日本文人画における旧風革新」を特別研究テーマに、所蔵品の掛け軸や屏風などが展示されました。また、離れでは当主の卓爾さんの孫娘で日本画家の小畑薫さんの絵画展も併催されました。門脇家住宅は重要文化財でありながら今でも人が住まう民家であり、そのバランスをよくとりながら活用を行っている先進事例として知られています。